

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・業務改善、教職員の働き方改革を推進し、自らの授業を磨いたり、日々の生活を豊かにすることで、自らの人間性を高め子ども達に効果的な教育活動を行う。 ・児童が、自他の生命を尊重し、思いやりをもって他者に接することができるよう、人権教育や道徳の授業を充実を図る。
------------------	---

2 学校教育目標	自ら考え行動し いきいきと学ぶ児童の育成
----------	----------------------

3 本年度の重点目標	【知】 ① 学習規律を整える。 ② 個別最適な学びと協力的な学びを通して、主体的にいきいきと学ぶ児童を育成する。 ③ 家庭学習の工夫。 【徳】 ① 児童・保護者・職員の心の教育を充実するために、校内体制を整える。 ② 特別支援教育の充実を図る。 【体】 ① 保護者と共に食育を推進する。 ② 望ましい生活習慣を身に付けるために、家庭での生活習慣に対する意識を高める。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○資質・能力を育成する授業についての共通理解・共通実践 ○学習規律の確立 ・「か・つ・おタイム」の徹底 か・・・片付け つ・・・次の時間の準備 お・・・お茶・おトイレ	○「学力向上対策評価シート」の【共通実践】に基づき、授業改善に努めることができていますか」の質問に対し、肯定的な回答をした教師85%以上 ○「次の授業の準備をして休み時間を過ごすことができていますか」「授業が始まる前に席につくことができていますか」の質問に対し、肯定的な回答をした児童85%以上	・学力向上対策評価シートを校内研究と連携させ、より取り組みやすくする。 ・校内研修で定期的に学力向上対策評価シートを振り返り、意識化を図る。 ・校内研究により、取組の促進を図る。 ・年3回『「か・つ・おタイム」強化週間』を設定し、児童への意識化を図る。		・		・		・	学習指導部【瀬戸・長岡】 研究推進部【久浦・野崎】	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達を大切にして良い関係を築き、楽しく学校生活を送ることができていますか」の項目で肯定的な回答をした児童85%以上	・学期に1回、低中高学年別の人権学習を実施し、人権に関わるアンケートを実施する。		・		・		・	道徳教育推進教師【山田】 人権・同和教育担当【緒方】 各学年主任	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「学校は楽しいですか」の質問に対し、肯定的な回答をした児童85%以上 ○認知したいじめの3か月以内での解消率100%を目指す	・構成的エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどを取り入れた授業実践を重ねる。 ・児童の様子に目を配り、気になることは「校内いじめ防止対策委員会」を開き、組織的に対応していく。		・		・		・	生活指導部【峰・野中】 各学年主任	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●◎「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対し、肯定的に回答した児童85%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対し、肯定的な回答をした児童90%以上	・各種体験活動では、児童に活動の見通しを持たせ、学びの振り返りを行う活動を仕組み、自己の資容に気付かせていく。また、教師は活動の過程において児童に1日に1回以上肯定的な声かけをするように意識する。		・		・		・	主幹教諭・教務主任	
	○◎児童が自分や友達の良さを認めることができる態度を育てる教育活動	○◎「自分や友達の良さをみつけようとしていますか」の質問に対し、肯定的に回答した児童85%以上	・各学年グループまたは、低中高学年グループで学期に1回ずつ人権集会を行い、人権意識を高めるとともに、友達の良いところを見つける活動を充実させる。		・		・		・	道徳教育推進教師【山田】 人権・同和教育担当【緒方】 各学年主任	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしていますか」の質問に対し、肯定的に回答した児童90%以上	・食事の大切さを実感したり、命を作る人（農業・畜産）への感謝の気持ちを持ったりできるように給食時間や道徳の時間に学年に応じて指導を行う。 ・年に2回、食に関するアンケートを実施する。		・		・		・	健康指導部【松尾・吉永】 学校栄養職員 養護教諭	
	○運動習慣の定着化	○「授業以外で、運動やスポーツに進んで取り組んでいますか」の質問に対して肯定的に回答した児童80%以上	・スポーツチャレンジへの取組を推奨する。 ・運動できる場を確保するため、朝の時間の運動場の開放を行う。		・		・		・	健康指導部【松尾・吉永】 学校栄養職員 養護教諭	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・職員会議資料等のデジタル化を進め、効率化を図る。 ・PDCAサイクルを意識し、行事の精選やスムーズな運営に生かす。		・		・		・	企画会	
	○教職員の連携促進	○「学年や部会など仕事が平準化できるように主体的に連携しようとしていますか」の質問に対し、肯定的な回答をした職員70%以上	・業務の負担に偏りがないか、企画会、運営委員会で情報共有し、対応する。		・		・		・	企画会	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育への理解推進・支援体制の確立	○「密に職員同士で情報交換を行い、具体的な手立てをもって支援することができましたか」の質問に対して肯定的な回答をした職員90%以上 ○「特別支援教育に関する通信を読んでいますか」の質問に対し、肯定的な回答をした保護者80%以上	・特別支援担当者が学級担任や生活支援員と密に情報交換を行い、児童の状況を適切につかみ、具体的な手立てをもって支援する。 ・保護者の必要としている情報を把握し、特別支援部より通信を年5回程度発行し特別支援教育についての理解を図る。		・		・		・	特別支援部【堀川・岡島】	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	・			・		・			
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	・			・		・			
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育											

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------